

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 金尾祐希 松井一樹 神田圭子

- 1 日時 令和5年 11月 10日(金) 第5校時
- 2 場所 1A教室
- 3 学年 第1学年 男子18名 女子16名 計34名
- 4 単元名 地域交流プロジェクト「神石の魅力再発見」
- 5 単元について

○生徒観

本学年の生徒は、総合的な学習の時間において、「地域の魅力を再発見する」について調べる学習に取り組んできた。小学校6年間の総合的な学習の時間を通して、地域の魅力に触れ、体験し、学習を深めてきた。それらの活動を通じて、生徒たちは神石高原町を好意的に捉えており、「自分が住んでいる地域が好き」と答える生徒は、約87%おり、神石高原町に対する思いも強い。

1学期には、神石高原町について知っていること、興味があること、神石高原町の弱みなどを出し合う活動などをして、さらに意欲的に地域について目を向ける活動を行ってきた。

2学期からは、近年力を入れ始めた特産品や、すでに廃れてしまった特産品に焦点を当て、グループごとに分かれて学習を進めた。

1学期、本学級の生徒に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次のとおりとなった。(肯定的評価/33人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことを見付けています。	27	
	2	地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること(問題)を知り、それらを解決するための方法を考えています。	21	
	3	友達や、地域の人々がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	27	
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	28	
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	20	
	6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	26	
	7	たくさんの資料から、必要な情報を集めることができます。	24	
	8	集めた情報から、適切なものを選んで、調べたことをまとめることができます。	25	
	9	調べて分かったことを、効果的な方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	22	
	10	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して何が分かるのかを考えています。	26	
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	28	
	12	発表する相手を意識して、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	27	
	13	自分の考えを積極的に伝えていきます。	21	
	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	28	
	振り 返り 力	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	26
		16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	24

	6		
	1 7	自分の住んでいる地域のことが好きです。	29

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする生徒が多かった。しかし、その中でも、いくつかの項目が全体に比べて割合が低い傾向にあった。

神石高原町のことは好きである一方で、町の課題を発見したり、困り感を汲み取ったりするような地域への貢献意欲は不足している。また、他者とのコミュニケーションにおいて、自分の思いや考えを表現することに難しさを感じている生徒が多いと見てとれる。

○単元観

本単元では、本校の学校教育目標「自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな生徒の育成」の実現につなげることを目的として設定している。この目的を達成するために、小学校在学中、中学1年時に学んだ神石高原町に関する知見をもとに、神石高原町の町づくりに参画し、神石高原町へ貢献することをねらいとしている。1学期は、神石高原町の新たな魅力について考えた。その結果、害獣をジビエ肉として販売する加工工場が最近新たにできたことや、しゃも地鶏という特産品がこの地域にあったことを発見した。これらの発見を中心に、グループごとに分かれ、神石高原町の魅力について調べていく。

自分たちが住む神石高原町の魅力（本単元では特産物）について調べ、まとめることを通して神石高原町へさらなる愛着をもち、地域のために自分たちに何ができるのかを考える態度を育てていきたい。その思いのもと、生徒たちで課題解決学習を進めながら行うことをねらいとしている。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力をつけるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	<p>授業の導入では、生徒の振り返りの記述や、授業内外でのやりとりをもとに課題へとつなげていくことで、生徒が自分たちで課題をつくっていくという意識を育てる。</p> <p>活動ごとに振り返りを行うことで、自分たちが地域の方のために何かできることはないかを考えていく。</p>
課題解決力	<p>クラスを特産品ごとのグループに分け活動を行う。単元を進める中で、やりたい活動に必要なことを話し合い、実践する。注目した特産品の情報はどのように集めるのか、特産品を扱う方はどんなことに困っているのか等の立ち止まりポイントを設定し、活動に関わってしなければならないことを生徒が進んで考え、行えるようにする。</p> <p>情報収集の方法を身に付けるために、思考ツールを使った学び方やインタビューや電話のかけ方なども指導する。授業ごと、活動ごとに、いま自分達の欲しい情報を得られているのか、次に自分達はどんな情報を必要としているのかを考えさせていく。また、知り得た情報をお互いに見合うことで自分達の情報収集に役立てられるようにする。</p> <p>課題解決の経験を積むなかで、自分の役割をもって、活動したり、みんなで協力する活動を行ったりして、学級としての課題解決力も高めていく。</p>
振り返り力	<p>振り返りの時には「今回できるようになったこと」「次にやりたいこと、やるべきこと」という視点を与え、今後の学習を見通した振り返りとなるように</p>

	させる。授業導入時に振り返りを紹介することで、活動のつながりを意識した振り返りができるようにしていく。
--	---

6 単元の目標

神石高原町の特産物について調べ、実際に見学・取材するなどの体験活動を通して、探究的・協働的な学習を行い、自分たちに何ができるか考え実践することで、地域への親しみを深める。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	視野を広げ、課題解決に向けて計画を立てる。
課題解決力	体験活動を通して納得解を見だし、表現することができる。
振り返り力	地域への親しみを深め、自分の生き方、在り方について考えることができる。

8 評価規準

評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単 元 の 評 価 規 準	①地域の様々な取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。 ②地域の良さや人々の思いをつかむために、目的に応じて情報を収集したり、インタビューをしたりしている。 ③発見した課題と自分の生活との関係について探究し続けてきたことによって、自らの行為が神石高原町の未来に深く関わっていることに気付いている。	①地域のまちづくりについて、資源を生かした取組や、携わる人々の思いから、地域の良さや課題を明らかにしている。 ②地域の現状を捉えるために必要な情報について、手段を選択し多様な方法で収集している。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり、関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④地域の事業や取組について、調査結果や企画内容を、グラフや図、写真等を使って効果的に表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通じて、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②地域の取組について調べる活動体験を通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③地域の活性化、困り感の解消のために自分たちにできることを企画し、実行することを通して、積極的に社会に参画しようとしている。

9 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
--	---	---	---

項目	神石高原町の特産品に関して、問いや疑問をもち、アイデアを創り出すために、自らがもつ情報や周囲の意見を参考にして考えを深めている。	神石高原町の特産品に関して、問いや疑問をもち、アイデアを創り出すために、自らがもつ情報を参考にして考えている。	神石高原町の特産品に関して、問いや疑問をもち、アイデアを創り出すために、自らがもつ情報を参考にして考えていない。
----	--	---	--

10 学習過程ごとの主な学習活動（全50時間）

★＝立ち止まりポイント

（本当にこれでいいのか、壁にぶつかったときどうすればよいか考える場面）

時数	学習過程ごとの主な学習活動
3	<p>【5月～6月】</p> <p>○小学校での「総合的な学習の時間」に行った内容を紹介しあう。 ・各小学校で取り組んだ学習内容を紹介し、共有化を図る。</p> <p>○各小学校で学んだことについて、疑問・質問を出し合う。 ・小学校で学んだことを、仲間と意見交換等しながら振り返りを行う。</p> <p>○自分の町の強み（良いところ）・弱み（改善点）等について意見交換をする。 ・思考ツール（PMIシート）を用いて、考えや意見を整理して、活動をさらに深める。</p>



【7月】

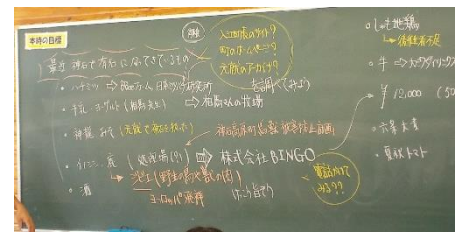
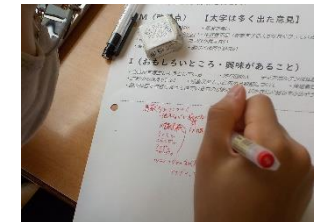
2 ○前時に行った PMI シートの内容を基に、出た意見や課題等を比較・分類する。

★以前から有名なものではなく、「町の魅力を再発見」という視点で考える。



○課題を整理し、さらなる情報収集方法の仕方を考える。

★インターネットだけでなく、他の方法でも情報収集できることを考える。



8 【9月】

○ 設定課題に対する情報の収集計画と方法及び発信方法の協議・検討をする。

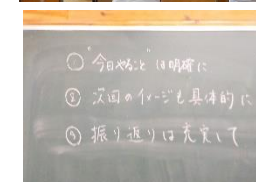
- ・ 情報収集の方法や発信の仕方についての見通しをもつ。
- ・ 同じ課題意識を持つ生徒で小集団（グループ）を作り、今後の役割やスケジュールを検討する。

★「やみくもに調べる」のではなく、何をねらいに、何のために、どのような方法で調べるのかをグループで考える。



○調べ学習を始める。

- ・ 前時のワークシートに生徒が記載した「振り返り」をいくつか紹介し、評価する。
- ・ どのような方法で情報収集するべきか判断して進める。



○地域のことで自分達がまだ知らないことや課題等を整理する。

- ・ 今後行いたい活動や知りたい情報について話し合い、どんなことをするか整理する。
- ・ 生産者の方への質問事項を選択・精査し、絞り込む。



★「すでに、HP サイト等で出ていることを質問する必要があるかな？」
「HP サイトや新聞記事を調べた上で、載っていないこと・さらに深く知りたいことを質問したらどうかな？」という助言を基に考える。



○取材当日の動きについて考える。

- ・ 取材当日のグループ内の分担や、必要な動きを協議・確認する。



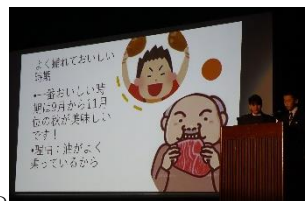
- 1 2 【9月下旬～10月】
- 事業所訪問取材（事業所を訪問して、生産者の人に取材・質問を行う）。
 - ・前時に設定した課題に対する答えを模索する。
 - ・事前に調べていたことと、現地調査や講話で、直接生産者の話を聞いて、新たに分かったこと、予想と違っていたこと、疑問に思ったこと等を整理する。
 - ・課題解決のため、事業所訪問で得た情報の整理を行う。
 - ★「準備していた質問だけで良いのか?」「人の話を聞く中で新しく疑問に思ったことを訊くことも必要じゃないか」という視点で生産者の講話や説明を聞かせる。



- 地域で働く生産者の方を学校にゲストティーチャーの方へインタビューをしたり、体験学習したりする。
 - ・現場の方の話を聞いて、自分ごととして捉えて、まとめる。
 - ・事前に調べていたことと、現地調査や講話で、直接生産者の話を聞いて、新たに分かったこと、予想を違っていたこと、疑問に思ったこと等を整理する。
- 発表作品（資料）を制作する（交流・検討・評価）。
 - ・どうすれば他者に分かりやすく伝えることができるか考えながら発表資料等を作成する。
 - ・聞き手、読み手のことを考えて発表の形式や方法を改善する。
- ★「自己満足になっていないか。」「みんな同じ発表方法で良いのかな。」という助言を与え、多面的にアイデアを考えさせる。



- 7 【10月中旬～11月】
- 発表する（文化祭でのステージ発表・掲示発表）。
 - ・自分たちの意見や主張を分かりやすく表現する。
 - ・通し発表後に、感想を交流する。
 - ・仲間（他者）からの評価を基に、発表内容や発表の仕方を改善する。
 - ★「他の人たちは、こんな感想を持っていたよ」と生徒に他者から良かった点・気になった点を伝えると同時に、グループ内でも良かった点・改善点を考えさせる。



- 文化祭での発表の振り返りをする。
 - ★振り返りの視点を与えて、振り返りをさせる。
- 「視点…地域の活性化につながる取組になっていたか、調査結果や取材内容を、グラフや図、写真等を使って効果的に表現できていたか」等。



- 1 0 【11月～12月】
- 前期の総合的な学習の時間の内容の振り返りをし、自分たちの学習のゴールを決める。
 - ・自分たちが設定したゴールに向けて、計画を再考し、改善する。



11 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちが設定したゴールに向けて、計画を再考し、改善する。

(2) 本時の評価規準

自分たちの計画について再考、改善し、次の課題へつなげている。

(主体的に学習に取り組む態度②)

(3) 準備物

総合ファイル, ワークシート

(4) 学習の展開 (30/50時間)

学習活動 ○指導者 ・予想される生徒の発言	指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)
1 前時の振り返りを行い、本時の活動を確認する。(3分) 2 本時の目標をワークシートに記入する。(2分) 3 各グループで活動に入る。(30分) ①ジビエグループ ・「ジビエ料理を学校給食に出す」を目標に動く。 ・どこに提案すれば学校給食に出すことを承認してもらえるだろうか。 ・承認してもらうためには何が必要か。 ・いつ実施してもらうことを目標にしようか。 ・メニューは何がいいか。 ②ハチミツグループ ・日本ハチミツの良さを多くの人に知ってもらうためには、どんな取組が考えられるかな。 ・小学校の頃のように、182ステーションで販売できるハチミツを何か使った食べ物を考えてみようかな。 ③神龍味噌グループ ・神龍味噌を「守り続ける」ために何ができるか。 ・多くの人に広めるのは生産者さんの思いとは違うな。 ・神石の人・広島県内の人に愛される味噌になってほしいから、そのためにできることを考えよう。 ④ヨーグルトグループ ・相馬さんのヨーグルト、生産する人の思いを知ってもらいたい。 ・相馬さんは、他の特産品とのコラボレーション商品を考えてみたら?とってくれたので、それを考えてみようかな。 ⑤しゃも地鶏グループ ・しゃも地鶏復活は難しいので、違うテーマに取り組まないといけない。	・本時で何をするのか、各グループでゴールイメージをもって活動する。 ・活動のゴールに合わせて、各グループごとに進度が異なるため、グループに応じた声かけを行う。 ○自分たちの計画について再考、改善し、次の課題へつなげることができている。(授業観察・ワークシートの振り返り)

<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足は，神石郡のすべての産業に言えることだと思う。 ・後継者不足を解決するために，町は何か手立てを考えているのだろうか。 <p>4 「次の活動」について話し合う。（7分）</p> <p>5 「次の活動」を各グループで発表し全体共有する。（3分）</p> <p>6 本時の振り返りをする。（5分）</p> <p>○振り返りを書きましょう。</p> <p>①プレゼン用の資料を作り終えたので，町行政の方とアポを取ろうと思った。</p> <p>②日本ハチミツの良さを十分に活かせる食材は何かな？</p> <p>⑤近くの事業所は後継者をどのように探しているのか聞き込みに行きたいと思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の授業で自分たちが何をするのかを明確にして臨めるようにする。 ・今後の活動について考えた振り返りができるようにする。
---	--

12 板書計画

<p>目標：自分たちが設定したゴールに向けて，計画を再考し，改善する。</p>
<p>ジビエグループ：本時の活動内容</p>
<p>ハチミツグループ：本時の活動内容</p>
<p>神龍味噌グループ：本時の活動内容</p>
<p>ヨーグルトグループ：本時の活動内容</p>
<p>しゃも地鶏グループ：本時の活動内容</p>